

令和5年度土佐中入試	第2日	算数A	2枚のうち 1枚目	番号		氏名	
------------	-----	-----	--------------	----	--	----	--

1 次の□にあてはまる数を書き入れなさい。

(1) $\left(3\frac{1}{3} - 2.75\right) \div \left(\frac{1}{6} + 0.125\right) = \square$

(2) 折り紙をクラスの生徒に同じ枚数ずつ配ると45枚余り、1人あたりの枚数を2枚増やして配ると7枚足りなくなりました。

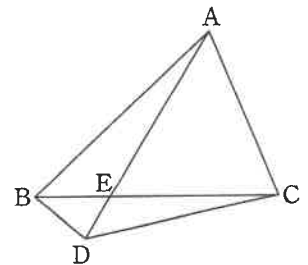
このクラスの生徒の人数は□人です。

(3) あきらさんとひろあきさんは学校のまわりを、正門を同時に出発して反対方向にそれぞれ一定の速さで歩きます。学校のまわりを1周するのに、あきらは7分かかり、ひろあきさんは5分かかります。2人がはじめて出会うのは、出発してから

□分□秒後です。

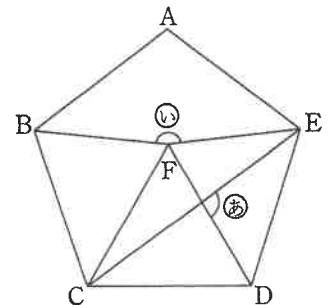
(4) 右の図で、三角形ABCの面積は 21 cm^2 です。また、DEの長さはAEの長さの $\frac{1}{4}$ 倍、

BEの長さはCEの長さの $\frac{2}{5}$ 倍です。三角形BDEの面積は□ cm^2 です。



(5) 右の図のように、正五角形ABCDEと正三角形FCDがあります。㊦の角の大きさは

は□度、㊩の角の大きさは□度です。



(6) あきらさんのクラスで計算のテストが行われ、合格者の人数はクラスの人数の4割でした。合格者の平均点はあきらさんの点数より8点高く、不合格者の平均点はあきらさんの点数より12点低くなりました。また、クラスの平均点は64点でした。

あきらさんの点数は□点です。

令和5年度土佐中入試	第2日	算数A	2枚のうち 2枚目	番号		氏名	
------------	-----	-----	--------------	----	--	----	--

- 2 整数の中から5で割った余りが2になるものと4になるものを除き、小さい順に1から並べると次のようになります。

1, 3, 5, 6, 8, 10, 11, 13, 15, 16, 18, 20, 21, ……

この数の並びについて考えます。次の□にあてはまる数を書き入れなさい。

- (1) 30番目の数は□です。また、2023は□番目の数です。

- (2) 1番目から60番目までの60個の数の平均は□です。

- 3 PとQの2人が1個のサイコロを使ってゲームをします。最初にPとQがこの順で1回ずつサイコロを投げ、出た目の数をそれぞれ a , b とします。さらに同じ順でPとQはもう1回ずつサイコロを投げ、このとき出た目の数をそれぞれ c , d とします。そして、2人の得点を次のように計算し、得点の大きい方を勝ちとします。

Pの得点は、 $a+b$ が c より大きいときは $a+b-c$ を計算したものとし、それ以外の場合は0点とします。

Qの得点は、 $b+c$ が d より大きいときは $b+c-d$ を計算したものとし、それ以外の場合は0点とします。

たとえば、 $a=4$, $b=3$, $c=2$, $d=6$ のとき、Pの得点は5点、Qの得点は0点なので、5点差でPの勝ちです。

- (1) 次の□にあてはまる数を書き入れなさい。

$a=4$, $b=5$ のとき、PはQに最大で□点差をつけて勝つことができます。

- (2) $a=5$, $b=1$ のとき、PがQにちょうど2点差で勝つときの c と d の数の組は全部で4つあります。それらを右の表にまとめなさい。ただし、解答の順序は問いません。

	①	②	③	④
c				
d				

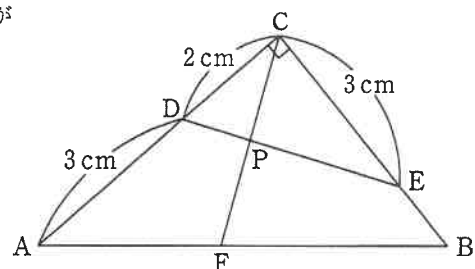
- 4 右の図の直角三角形ABCは、直線DEを折り目として折ると、頂点Cが点Fと重なります。次の□にあてはまる数を書き入れなさい。

- (1) 次の長さの比をもっとも簡単な整数の比で表しなさい。

① $CP:DP = \square : \square$

② $CP:EP = \square : \square$

③ $CF:DE = \square : \square$



- (2) 三角形AFCで、辺ACを底辺としたときの高さは□ cmです。

- (3) BEの長さは□ cmです。